

乙訓平和委員会ニュース

発行年月日 2023年9月25日 No.459 発行・乙訓平和委員会 編集責任者・米重節男
電話・FAX 075-932-3546 MAIL heiwaotokuni@gmail.com

突きささる「朝鮮人だったら殺しても良いのか」の叫び 映画「福田村事件」100年前を今に問い継続上映中

9月1日は関東大震災から100年目でした。マスコミで多くの特集が組まれています。例年なら防災の日で、避難訓練とか予想される地震や自然災害に関する記事が多いのですが、今年は関東大震災関連記事が目につきます。その中でも地震被害だけでなく、大地震に伴って関東各地で起きた、朝鮮人・中国人・共産党員や社会主義者などを、住民が集団で虐殺した事件が取り上げられています。

福田村事件はその一つで、これまでほとんど知られていませんでした。千葉県の新井川べりの村で、讃岐から来た15人の行商団一行を、朝鮮人と決めつけた村人たちが集団暴行して、9人が殺されました。この事件は、集団心理が起こしたすさまじさを示しています。

日本人を殺した点、殺された人々が被差別部落の人々だったこともあり、語られることなく埋もれていました。半世紀後に、当時を知る関係者が語るものの、大

きくはなりませんでした。地域研究者の努力で、事件の詳細が明らかになり、犠牲者への公式の謝罪と追悼がされたのは最近になってのことです。



虐殺事件の責任は100年後も問われている
映画は、関東大震災を中心に、朝鮮国内での住民人弾圧、シベリア出兵、大正デモクラシーなど、その当時の時代背景をしっかりとつなげ、話が構成されています。讃岐から来た薬売り行商団が、朝鮮人と間違えられて殺される場面は、人がこうも鬼になるのかというリアリティをもって迫ってきます。映画は、一行15人の内9人が虐殺され、6人が生き残ったことで終わります。最後に、人殺しにかかわった村人が裁判で有罪となったと出ます。

今では関東大震災で虐殺事件があったことは、民間の記録や絵画などで判明しています。この犠牲者を追悼する取り組みもされていますが、犯人の究明や日本政府の公式な調査と謝罪などはありません。福田村事件では、関与した者は裁判で有罪判決が下されましたが、昭和天皇即位に伴う恩赦で刑は終わっています。関東大震災で虐殺した犯人が裁かれたという話は聞かないし、日本政府は100年後の今日でも謝罪しません。それどころか、そのような事件は公式記録が無いと答弁する始末で、歴史から消そうとしています。福田村事件は、無関係の日本人を集団殺害したため、さすが放置できず、裁判にかけられたのでしょう。

映画で「朝鮮人だ」「殺せ」と騒ぎたてる村人に、行商団の親方が「朝鮮人だったら、殺しても良いのか」の叫びは、見ている者よりも、今の日本に向けて叫んでいるように思えました。この映画は、京都シネマで期間延長で上映されています。お勧めです。

(文責:米重節男)

「俳句を作る」

先日、部活の付き添いで、ある大学の蚕の研究を見させていただきました。

見学・案内まで時間がありましたので、その大学の近くの有名な池に散策に行きました。その池は「広沢の池」といい、(松尾)芭蕉が俳句を詠んだことで知られています。

芭蕉は「名月や池をめぐりてよもすから」と詠みました。(貞亨3年(1686年)8月15日、芭蕉庵で月見の宴を催した折の句)

私も芭蕉に負けじと、一句作ってみました。

「広沢で芭蕉も汗をかいたかな」

この日は、日差しもきつく、汗が次々と出る状態でした。もう一人の引率の先生にこの句を伝えると、「芭蕉は汗をかかなかったでしょう」と言われました。

「なぜですか?」と聞くと、芭蕉は広沢の池では「夜に」月見をしたのでは?と。なるほど、一本を取られました。

またこの日の本命、蚕をいよいよ見学させていただきました。2時間に渡り、この学校の先生に蚕やその蚕が食べる桑について説明をしていただきました。最後に、蚕が6万頭(蚕は家畜なので、単位は匹ではなく頭)いる部屋に案内していただきました。ここでも一句作ってみました。

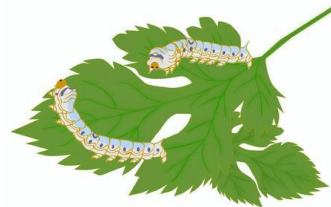
「25度 快適な温度だ 蚕も人も」

その部屋の設定温度は25度でした。蚕はさぞ暮らしやすい部屋だろうと。また人間にとっても図書館並みの快適さ。合宿できる(泊まれる)のではと思えるほどの居心地の良さでした。

一緒に行った中学生の集中力と好奇心には目を見張るものがありました。

蚕に触れ、蚕について質問をし、説明されたことを真剣な表情で聞いていました。

私もつられてこの日は蚕にどっぷりと浸っていました。



(23.09.11)

2023年乙訓平和のつどい

●10月1日(日)午後2時開会 1時半受付

●大山崎町ふるさとセンター3階

○映画上映「放射線を浴びたX年後Ⅲ
サイレント・フォールアウト」

& 原水禁大会報告 ほか

▲つどいの資料代500円。映画は無料です。

* 会場で映画の支援募金を呼びかけます

主催 乙訓平和のつどい実行委員会・乙訓原水協

お詫びと訂正

前号(9月15日発行)は、一部で号数がまちがっていましたが、正しくは458号です。お詫びの上、訂正します。

